

三重県尾鷲市 地域おこし協力隊



【名前】黒羽 真弥（くろは まや）

【出身地】茨城県水戸市

【活動期間】令和4年6月～

【前職】カフェ経営 イベント運営企画

【活動ミッション】

『暮らしを守る、新たな持続可能な観光の仕組みづくり』
及び『住んでよし、訪れてよし』の観光地域づくり

活動内容の紹介

●巡りサイクルイベント運営企画

三木里巡りサイクル＝社会問題解決型イベント
そっとゆずれる宝物。誰かのいらない物は誰かの必要なものをコンセプトにゴミがゴミじゃなくなる、エコで地域を持続可能にしていけるイベントの運営企画をしています。三木里は車が通れない場所に住まいがある方も多いため、重いゴミ(粗大ゴミやガラスゴミ)はゴミの日にだせずそのままになっている事が多く、私と集落支援員さんでタックを組み、高齢者の家を訪問し、不用品の回収、分別後、まだまだ使える物をバザーとして出品して売り上げを小学校の修繕費として寄付しています。

三木里巡りサイクル12月1日(日)今年も開催予定です。沢山のご来場お待ちしております。

●アルドくんのビーチクリーンプロジェクト

ボランティア団体『巡りサイクル 海』を立ち上げ、みきさとVぐみさんとダブル主催で海ゴミをジブングトとして考える仕組みづくりをテーマに多様な人とまじあい、いろいろな形でビーチクリーンの輪、豊かな海をまもるための意識が広がることを目指しています。

●農ある暮らしイベント運営企画

三木里には海も山も川もそして畑もある素晴らしい環境。土に触れ野菜を通して三木里の自然環境を感じてもらえたらという思いから空家バンクさんと移住者目線になって農ある交流会を企画運営しています。畑を皆んなで管理しながら、農薬や化学肥料を使わずに季節にあった野菜の栽培方法のコツを教えてもらったり、収穫したり。交流を兼ねた農業体験講習会です。

●巡りサイクル +α ビオトープ 三木里小学校裏庭再生プロジェクト

三木里は自然豊かな素晴らしい環境。
地域の皆んなで管理しながら、自然環境の保全や復元、創造を目的に三木里小学校の裏庭にビオトープを作り
自然体験を通して訪れた人が遊んで学んで癒される場所を作る計画をしています。

協力隊に応募したきっかけ

30代後半になった頃から、今後の人生を改めて考えていました。
『自然豊かな環境で新しい土地に貢献しながら自分自身も豊かに生きたい。』という想いに気づき、住むなら海の近くという私と、山が好きな夫。夫婦二人が理想としていた『自然』『伝統』『文化・暮らし』『食』全て揃っている尾鷲市三木里町。
ミッションである『暮らしを守る、新たな持続可能な観光の仕組みづくり』私のやりたい事にピッタリだと思ったので協力隊に応募しました。三木里町の可能性は無限大だと感じています。

抱負・任期後の目標

今後も自然や伝統文化を活かしながら、小さくてもキラリと光るまちづくりを発展させるため、リユースをはじめとする「5つのR」を推進する活動などに取り組んでいきたいと思います。少しでも多くの方が、サステナブルこそ三木里の魅力であると自覚することにより、自然保護、文化・伝統の継承、受け入れ体制の向上、そして何より、住民自身の地域への満足度向上に繋がるのではと考えます。何でもokの受け身の観光地ではなく、住民の負担無く問題が少ない“選ばれる旅先”を目指したいと思っています。

任期後は、季節ごとに異なる魅力的な自然を体験することができる三木里の特性を活かし、日常生活から離れて自分と向き合い、ゆったりとした時間を過ごして心と体をリラックスさせる旅のスタイル、リトリートを取り入れた観光の仕組みづくりをしていきたいと思っています。

連絡先

活動の様子を発信しているSNS、ブログなど

instagram インスタグラム

三木里暮らし

@mikisato_gurashi

アルドくんのビーチクリーン

@aldos_beach_clean

